



講師プロフィール

押田敏雄 (おしだとしお)

麻布大学名誉教授。獣医師。博士(獣医学・農学・工学)。国産ジビエ認証機構認証事業部長、全日本鹿協会副理事長。獣医衛生学を専門とし、家畜衛生や畜産環境の研究・教育に長年携わる。近年はジビエの衛生管理や認証制度の整備、普及活動に尽力し、日本におけるジビエ研究・普及の第一人者として活躍している。『vesta』特集「ジビエの世界」では特集アドバイザーを務めた。著書に『ブタの科学』『肉の機能と科学』『日本のジビエ』(編著)など多数。



趣旨

かつては自然の一部としてヒトと共生していた野生鳥獣ですが、近年ではシカやイノシシを中心に、「ジビエ」としてその価値が見直され、食材としての利用や産業化が進められています。獣害や流通の課題、縄文期から江戸期の「薬食い」の文化まで、日本人と野生鳥獣との関わりは古く、食文化の一つでもあります。また、安全にジビエを食べるためには、衛生管理や適切な調理について知ることも欠かせません。

本講座では、『vesta』特集「ジビエの世界」の特集アドバイザーを務めた押田敏雄氏を講師に迎え、ジビエの歴史や文化、野生鳥獣との関わり方、地域資源としての可能性、そして安全においしく食べるための知識についてお話いただきます。ジビエを通して、ヒトと自然との関係や、これからの食文化のあり方について考えます。

また、講演後には麻布大学「いのちの博物館」も見学します。標本の展示を見るだけでなく、シカやイノシシをはじめとする動物の骨や角に実際に触れ、その重さを体感することができるコーナーもあります。ジビエを支える野生鳥獣について、より理解を深める貴重な機会です。ぜひ併せてご参加ください。



アクセス

麻布大学1号館7階大会議室(701、702)

JR 横浜線 矢部駅北口より徒歩4分

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71



「聴くvesta」とは

食文化誌『vesta』のご執筆者を講師に招き、ご寄稿内容を中心に講義をして頂く公開講座を新たに企画致しました。

誌面に収まりきらなかった話題も取り上げますので、さらに理解を深めることが出来ます。

50名程度を対象にした小規模な講座で、講師との距離が近く気軽に質問が出来るのも魅力です。